

# 環境影響評価書案

日本経済新聞社 東雲別館(仮称)建設事業

昭和61年6月

日本経済新聞社

# I . 総 括

## 1 事業者の氏名及び住所

株式会社 日本経済新聞社  
 代表取締役社長 森田 康  
 東京都千代田区大手町一丁目9番5号

## 2 対象事業の名称

日本経済新聞社東雲別館（仮称）建設事業  
 （事業の種類：工場の設置）

## 3 対象事業の内容の概略

本事業は、東京都千代田区大手町一丁目9番5号にある当社の新聞製作部門のうち印刷関連部門及び、東京都新宿区北山伏町二丁目1番地にある出版局部門の商品管理課を東京都江東区東雲一丁目14番地に移転し、建設するものである。

工事計画工程の概略は表I-3-1に示すとおりであり、事業計画の概要は表I-3-2に示すとおりである。また主要施設の配置は図I-3-1に示すとおりである。

表I-3-1 工事計画工程の概略

月 数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27			
杭 土 工 事		A						(杭土工事)																						
仮設物撤去	(撤去)			B																										
建 築 工 事						A																								
強硬掘削工事									B																					
輸 送										(土工事資材、旗土)											(建築資材)									
運 転																						(資機資材)								

A：印刷機 B：物流機

表 1 - 3 - 2 事業計画の概要

建設地	東京都江東区東雲一丁目14番地		
生産品目	新聞		
同生産量	朝刊 72万部/日 夕刊 62万部/日 (マンデイ日経 57万部/週, 別刷 125万部/月)		
同主原料	新聞巻取紙 インキ		
敷地面積	総面積	14,146	m <sup>2</sup>
	印刷棟面積	5,914	m <sup>2</sup>
	物流棟面積	1,805	m <sup>2</sup>
	駐車場, 環境施設	3,597	m <sup>2</sup>
	緑地面積 (20%)	2,830	m <sup>2</sup>
敷地内建物	印刷棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階, 塔屋1階 (地下階なし)	延床面積 22,200.0 m <sup>2</sup>
	物流棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階, 塔屋1階 (地下階なし)	延床面積 6,012.0 m <sup>2</sup>
主要機器	オフセット輪転機, 空気圧縮機 冷凍機, 冷却塔, 空調機, 排風機		

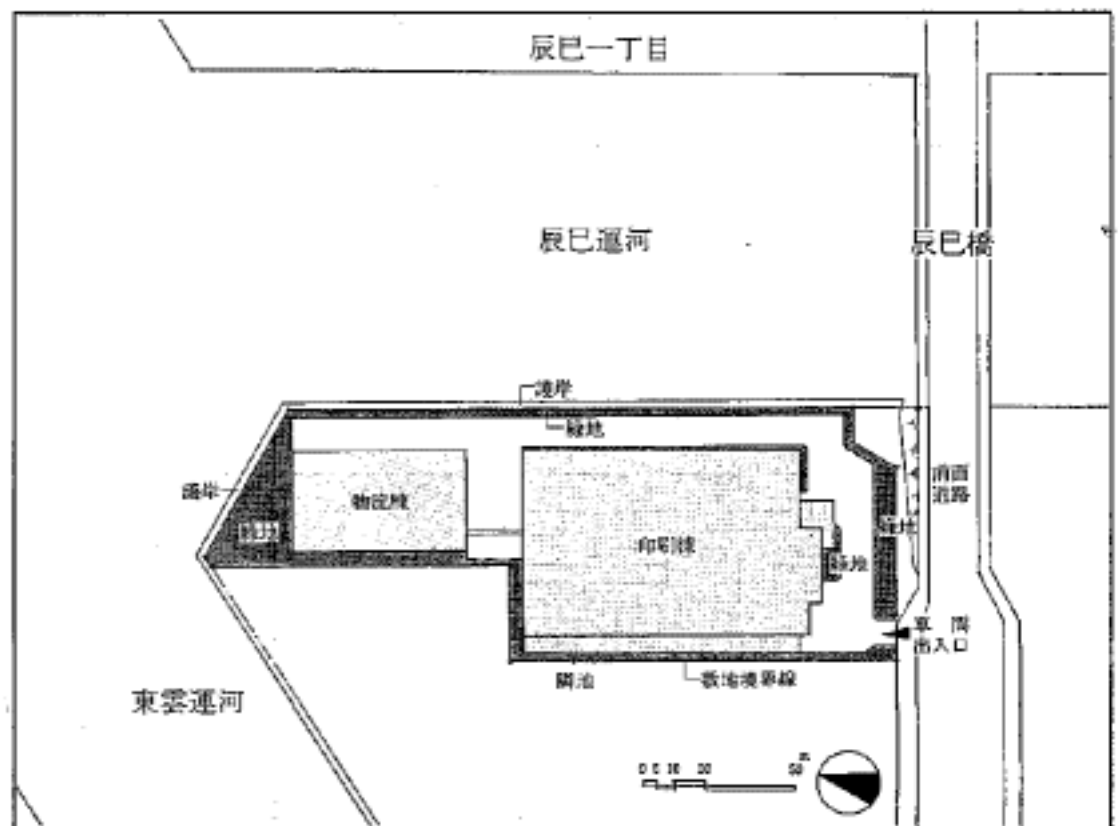


図 1 - 3 - 1 主要施設の配置図

#### 4 環境に及ぼす影響の評価の結論

対象事業の内容及び地域の概況を考慮して選定した予測・評価項目について現況を調査し、予測・評価を行った。その結論は表1-4-1に示すとおりである。

表1-4-1 評価の結論

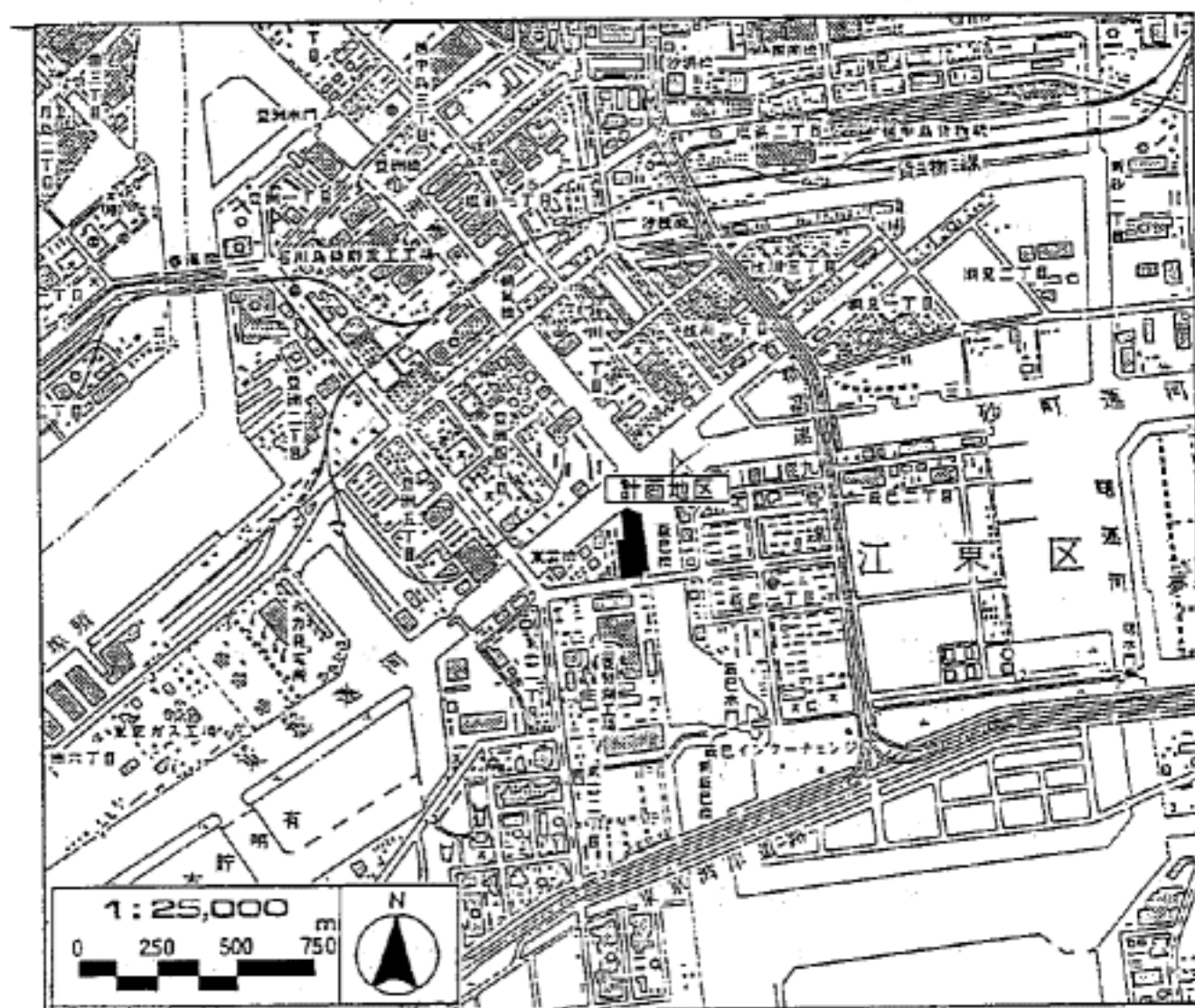
予測・評価項目	評 価 の 結 論
1. 大気汚染	<p>①供用時における本事業の出入車両の排ガスについては、将来の一般交通量による年平均値に対して、本事業の出入車両による付加率が、道路端で一酸化炭素 1.0%、二酸化窒素 0.5%となるので、影響は小さいと考えられる。</p> <p>②建設時における工事用車両の排ガスについては、将来の一般交通量に対する、本事業の工事用車両による交通量の付加割合が、供用時の付加割合の1/8 程度であるので、供用時に比べ影響はさらに小さいと考えられる。</p>
2. 騒 音	<p>①建設作業中の騒音レベルは、計画地区境界から30mの地点において、東京都公害防止条例の勧告基準値以下となり、運河を挟んだ対岸ではさらに小さくなるので、影響は小さいと考えられる。</p> <p>②建設時の工事用車両走行による道路交通騒音については、一部では環境基準値を超えているが、将来の一般交通量に対する、本事業の工事車両による付加が、最大で 0.3 dB(A) (=ホン) 程度となるので、影響は小さいと考えられる。</p> <p>③供用時の工場騒音レベルは、計画地区境界において、東京都公害防止条例の規制基準値以下となり、運河を挟んだ対岸ではさらに小さくなるので、影響は小さいと考えられる。</p> <p>④供用時の出入車両走行による道路交通騒音については、一部では環境基準値を超えているが、将来の一般交通量に対する、本事業の出入車両による付加が、最大で0.3 dB(A) 程度となるので影響は小さいと考えられる。</p>

予測・評価項目	評 価 の 結 論
3. 振 動	<p>①建設作業中の振動レベルは、計画地区境界において、東京都公害防止条例の勧告基準値以下となるので、影響は小さいと考えられる。</p> <p>②建設時の工事用車両走行による道路交通振動については、人体に感じられない程度であるので、影響はないと考えられる。</p> <p>③供用時の出入車両走行による道路交通振動については、人体に感じられない程度であるので、影響はないと考えられる。</p>
4. 悪 臭	<p>供用時において本事業により発生する臭気については、排出口及び計画地区境界における臭気濃度が、東京都公害防止条例の規制基準値を大きく下回る値となるので、影響はないと考えられる。</p>
5. 電 波 障 害	<p>本事業により発生する電波障害については、関係者と十分協議のうえ対策を講じるので、影響はないと考えられる。</p>
6. 景 観	<p>建物の外観が事務所建築のイメージとなるように、窓や外装に配慮し、また建物の外周には植栽・緑化を行うことにより、現状の計画地区周辺の景観向上がはかられるので、影響はないと考えられる。</p>

敷地内の面積の内訳は表Ⅱ-2-1に示すとおりであり、建物位置の概略は図Ⅱ-2-1に示すとおりである。

表Ⅱ-2-1 建物面積等

種別	建物高さ (a)	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延面積 (m <sup>2</sup> )	作業場面積 (m <sup>2</sup> )	敷地面積と割合		
					面積 (a <sup>2</sup> )	割合 (%)	
建物	印刷棟 7階建	38.9	5,914	22,200	5,681	5,914	41.8
	物流棟 4階建	21.0	1,805	6,012	—	1,805	12.8
	小計	—	7,719	28,212	5,681	7,719	54.6
その他	緑地	—	—	—	—	2,830	20.0
	駐車場・通路	—	—	—	—	3,597	25.4
合計	—	7,719	28,212	5,681	14,146	100.0	



図Ⅱ-2-1 計画地区位置図